

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2023年3月期第1四半期決算短信、プレスリリースなど、当社の近況をご報告させていただきます。  
株主の皆様には今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ① 2023年3月期第1四半期 業績ご報告

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中で、持ち直しの動きがみられます。個人消費は、まん延防止等重点措置の終了を受けて、対面型サービスを中心に持ち直しております。消費者物価上昇率(生鮮食品を除く総合)は、原油価格上昇に伴うエネルギー価格上昇や食料品の値上げを主因として、2022年4月には前年比2.1%と消費税率引き上げ時を除けば2008年9月以来の上昇率となりました。

当社グループの属する業界も、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及びウクライナ情勢による事業への影響については、予断を許さない状況であるため、今後も注視してまいります。

このような経済状況のもとで、当社グループは、引き続き積極的に事業を展開しております。当第1四半期連結累計期間においては、かねてより参入していたジェネリック医薬品の分野で、2022年2月に日本国内における製造販売承認を取得した高脂血症用剤(一般名:オメガ-3脂肪酸エチル)が2022年6月に薬価収載され販売を開始いたしました。

また、当社グループの健康理念のもと、長年蓄積してきた原料調達ノウハウを駆使し、開発した当社独自の機能性素材であるローズヒップエキスや、銀粒仁丹に用いたコーティング技術を発展・応用させたシームレスカプセル技術を駆使したフレーバークプセルの受託の販売が堅調に推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,691百万円(前年同四半期比10.5%増)、営業利益185百万円(前年同四半期比11.4%増)、経常利益200百万円(前年同四半期比15.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益156百万円(前年同四半期比17.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては前述のとおり、高脂血症用剤(一般名:オメガ-3脂肪酸エチル)の販売が開始し、ジェネリック医薬品の安定供給を目指しています。また、それに加えて当社独自の機能性素材であるローズヒップエキスでは、採用されたアイテムも増え前年同四半期と比べて6.0%の増収となりました。

この結果、売上高は、2,056百万円(前年同四半期比11.6%増)、セグメント利益は、49百万円(前年同四半期比55.1%減)となりました。

#### ② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバークプセルの受託の販売が前年同四半期と比べ増収となりました。

また、産業用途でのカプセル開発にも長年取り組んできた結果として、外部との共同研究により、当社独自のシームレスカプセル技術を用いた化粧品カプセルの開発に成功しました。

今後も当社独自のシームレスカプセル技術を日本のみならず国外においても展開していくことにより、社会課題解決への取り組みをグローバルニーズへと拡げることができると考えています。

この結果、売上高は、634百万円(前年同四半期比7.1%増)、セグメント利益は、135百万円(前年同四半期比140.4%増)となりました。

#### ③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、0百万円(前年同四半期比0.0%増)、セグメント利益は、0百万円となりました。

(百万円未満切捨て)

### 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

#### 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,691	10.5	185	11.4	200	15.1	156	17.6
2022年3月期第1四半期	2,435	3.6	166	4.2	173	5.2	132	8.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 175百万円(197.0%) 2022年3月期第1四半期 59百万円(△74.2%)

(2022年8月9日公表)

### 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	6.3	150	4.7	160	2.7	117	1.5	28.72
通期	10,000	4.6	280	△6.5	320	△6.1	236	△16.8	57.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

EPA・DHA製剤(高脂血症用剤)

## ② オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル2g「MJT」薬価基準収載及び新発売のお知らせ

当社は、日本国内における製造販売承認を取得した高脂血症用剤「オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル2g「MJT」(一般名:オメガ-3脂肪酸エチル)」について、2022年6月17日付で薬価基準に収載され、共創未来ファーマ株式会社、株式会社三和化学研究所が販売を開始いたしました。

### 【オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル2g「MJT」の概要】

製品名 : オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル2g「MJT」  
 一般名 : オメガ-3脂肪酸エチル  
 効能又は効果: 高脂血症  
 用法及び用量: 通常、成人にはオメガ-3脂肪酸エチルとして  
 1回2gを1日1回、食直後に経口投与する。  
 ただし、トリグリセライド高値の程度により  
 1回2g、1日2回まで増量できる。  
 有効成分 : 1包中 オメガ-3脂肪酸エチル2g

製造販売承認日: 2022年2月15日  
 薬価基準収載日: 2022年6月17日  
 発売日 : 2022年6月17日  
 製造販売元 : 森下仁丹株式会社  
 販売元 : 共創未来ファーマ株式会社  
 株式会社三和化学研究所

本件は、当社関連の最新情報をステークホルダーの皆様にお伝えするために実施しています。報道関係者や株主・投資家の皆さまへの情報提供を目的としたものであり、プロモーションや広告、医学的なアドバイス等を目的とするものではありません。

## 塩分約30%カットでよりヘルシーに! 出汁風味アップ!

### ③ 『葉酸たまごスープ』がリニューアル

当社は、通常のたまごより葉酸を多く含む「葉酸たまご」を使用するなどして栄養素を強化した栄養機能食品「葉酸たまごスープ」を、2022年7月1日より通信販売(<https://jintan.jp/press220701>)にてリニューアル発売いたしました。

リニューアル品は従来品と比べ、塩分を約30%カット(1食当たり食塩相当量 0.59g)し、食事の塩分量を気にする方々の減塩ニーズにも応える仕様となっているほか、昆布やかつお、煮干し、さばから引いた出汁の風味をかきさせた味わいに改良しています。塩分を大幅にカットしたことにより、小さいお子様や塩分摂取量に配慮している高齢者の方など幅広い世代におすすめしやすい製品となっています。具材の「葉酸たまご」、「ほうれん草」、「にんじん」は、すべて国産原料のみを使用し、保存料・着色料は無添加で

## 幅広い世代に必要性を知ってほしい 葉酸・カルシウム・鉄配合の栄養機能食品

す。お湯を注ぐだけで作りたてのようなふんわりとしたたまごスープをお楽しみいただけるフリーズドライで、手軽に摂れる栄養補給としてもおすすめです。



### ④ 「森下仁丹 活動報告書2021」発行

当社の2021年度3月期までの事業およびCSV活動などについてまとめた、「森下仁丹 活動報告書2021」を2022年9月30日に当社ホームページ IR情報に掲載いたします。

業祖 森下博が掲げた「濟世利民」と「報本反始」の信念にはじまり、皆様の健康に奉仕することと、120年以上積み重ねてきた技術と研究を活用し、社会課題の解決と新たな価値創造を生み出すべく取り組んできた2021年度までの活動内容をまとめております。腸内環境に関する研究成果や海外展開するサプリメントやカプセル販売、長年の生薬研究のもと培われた自然素材に由来する機能性素材など事業に関連する活動報告はもちろん、健康経営やCSR活動などについてもご紹介しております。ぜひ、当社の企業価値向上に向けた取り組みについて、ご覧くださいませ。



URL <https://www.jintan.co.jp/corp/ir/>

